

令和 4 年度
長野県木材青壮年団体連合会

理事予定者会議



令和 4 年 4 月 9 日(土)

オンライン [Zoom]

日本木材青壮年団体連合会 綱領・会歌

綱 領

われわれ木青連は

おなじ世代の木材人として
交流を深め相互の啓発につとめよう

若い英知と情熱を結集し
不屈の精神をもって行動しよう

木材界の発展を通じ
よりよい社会を建設しよう

会 歌

一、木を愛し木と共に

暮らしの基を 育くみて

未来のために世のために

広く普及^{った}えた 木の香り

ああ 我ら

木青連の心意気

二、木を学び 木に求め

あまねく同志^{とも}と たずさえて

相互^{たがい}の力 結びあい

文化日本を 拓くのは

ああ 我ら

木青連の理想なり

三、木に育ち 豊かさを

伸びゆく我ら 若人が

若き叡知と 情熱で

明日の社会を 築くのは

ああ 我ら

木青連の使命なり

令和4年度 理事予定者会議 次第

日 時：令和4年4月9日（土） 14：30～16：30
場 所：オンライン [Zoom]

- 1 開会の辞
- 2 会歌斉唱並びに綱領唱和 ※省略
- 3 出席者確認
- 4 会長予定者挨拶
- 5 直前会長予定者挨拶
- 6 資料確認及び字句訂正
- 7 連絡報告事項
- 8 議長指名
- 9 議事
 - (1) 開会宣言
 - (2) 議事録作成人指名
 - (3) 定足数確認
 - (4) 議案採択
 - 第1号議案 令和4年度事業計画（案）承認の件
 - 第2号議案 令和4年度事業予算（案）承認の件
 - 第3号議案 第63回県会員東信大会・令和4年度定時総会（案）承認の件
 - 第4号議案 第1回理事会開催（案）承認の件
- 10 協議事項
- 11 監事講評
- 12 閉会の辞

【連絡報告事項】

1 会議・事業経過報告

2 出向者活動報告

3 正副会長連絡事項

(1) 理事会について

- ・服装についてはスーツ（ジャケット）、ネクタイ、バッジ着用
(ただし6～10月についてはクールビズを推奨)
- ・WEB会議の場合、服装は基本的には、ネクタイ・ジャケット・バッジの着用。
仕事の関係でやむを得ない場合は、仕事着での参加でも構いません。
- ・会議中は携帯電話をマナーモードにするか電源をお切りください
- ・会長および直前会長の挨拶、監事講評、会歌斉唱、綱領唱和の際は
ジャケットを着用しパソコンは閉じてください

4 会員動向

(1) 物故者の確認について

- ・対 象 会員及び歴代会長
- ・期 間 令和3年4月1日から令和4年3月31日まで
- ・報告期限 令和4年5月6日（金）まで
- ・報告内容 亡くなられた方のお名前、年齢、会社名、役職、日時等

- ・連絡先 令和4年度事務局長予定者 中嶋 章
TEL 0267-67-4038
FAX 0267-67-3307
E-mail info@nakajima-sc.com

会議・事業経過報告


2月	22日	長野県木青連 日木出向者選定会議	WEB会議
3月	4日	日本木青連 理事予定者会議・委員会	WEB会議
3月	5日	日本木青連 第7回理事会	WEB会議
3月	5日	日本木青連 第134回臨時総会	WEB会議
3月	29日	長野県緑の基金 評議委員会	書面表決
4月	9日	長野県木青連 理事予定者会議	WEB会議

計画議案書

会議開催日： 令和4年3月5日

協議	審議	予算書
	3/5	無

担当副会長	専務	総務委員長
	高篠	田家

委員会名(役職名)	会長補佐	SDGs 対象目標番号
委員長名(氏名)	谷地 譲	
担当副会長名		

議案名 (事業名称)	日本木青連 社団法人化継続推進に係る部会設置の件
外部協力者 協力の種類	

主旨 ※背景・目的を簡潔に記載してください	<p>【背景】</p> <p>当会が設立されて 65 年を迎えようとする現在、任意団体としての活動では各事業をおこなう際に活動の制約がなされる部分があったり、すべての責任が会長個人へ帰結することであったり、全国規模の団体としてのスケールメリットを十分に生かしきれていないことなど改題が多くあります。</p> <p>また、昨年4月からの法人化の議論を通じて、多くの方々より、決議を諮るにはより詳しい情報と、検証を行うことが必要との意見が出ております。</p> <p>【目的】</p> <p>日本木青連の法人取得により、任意団体では解決できない課題を解決し、また継続的に次代の木材業界をリードしていく人材を育成し、木材業界の新たな価値創造をしていく事を目的とし、次年度以降も社団法人化取得に向けた議論を継続的に行う。</p>
--------------------------	--

事業概要 ※場所・参加員数計画・実施組織・目的達成のための手法・事業実施までのスケジュール等なるべく詳細に記載してください	日時	審議後～法人化の方向決定時点まで
	<p>今年度、数回にわたり社団法人化の議論を進めてきましたが、全国の会員会団全体に、取得をする目的や意義を浸透するまでには至っていないのが現状です。</p> <p>取得に係る手続きのハードルは高くはないと考えますが、それ以前の会員である会団内のメンバー一人一人が社団法人化の議論を通じて、日本木青連の価値を新たに見出していく事が必須の条件だと考えます。</p> <p>より次年度以降も深化した議論を進めるために、以下の通りの提案を行います。</p> <p>○社団法人化推進特別部会の設置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的: 社団法人化に係る議論をより深めていくための、様々な活動を行う。専務及び総務委員会と協力し、総会及び理事会への報告及び議案の提出を行う。 ・部会長・・・亀山武弘(宮城県会団)R元年度会長 ・部会員・・・部会長が現役会員の中から指名をする。10名程度(*できるだけ各地区から選出) ・活動・・・地区協議会や会員会団等への出向いての説明会の開催 <p>コンプライアンスに則った諸規定等の編集・作成</p>	

	その他必要な活動	
	* 部会各種承認願い 20220305	
	* 予算書なし * 参考資料へ【 社団法人定款案 、 定款&会則比較 、 参考資料 PPT 】	
協議の要点 ※特に協議や意見が欲しい ことについて箇条書きにて記 載してください	次年度以降の継続協議について検討願います。	
前回までの 意見と対応	日付	要旨
	2022/2/24 執行部会議	質問 1: 部会員の選出基準の考え方は？ 対応 1: 歴代の専務や総務委員長経験者や年齢的に若い方々に入ってもらえるように考えております。 意見 1: 次年度以降再度、木青連の行ってきことなど、丁寧な説明を行っていただきたい。 対応 1: 上記の通りに申し伝えます。
		意見 1: 対応 1:

協議事項

部会各種承認願

(新規 ・ 更新 ・ 変更 ・ 休止 ・ 廃止)

提出日：令和4年3月5日

提出者	役職名	会長補佐	氏名	谷地 譲
部会名称	社団法人化推進特別部会			
活動内容 (主旨)	任意団体では解決できない課題を解決し、また継続的に次代の木材業界をリードしていく人財を育成し、木材業界の新たな価値創造をしていく事を目的とし、次年度以降も社団法人化取得に向けた議論を継続的に行う。			
経緯	<p>当会が設立されて65年を迎えようとする現在、任意団体としての活動では各事業をおこなう際に活動の制約がなされる部分があったり、すべての責任が会長個人へ帰結することであったり、全国規模の団体としてのスケールメリットを十分に生かしきれていないことなど改題が多くあります。</p> <p>また、昨年4月からの法人化の議論を通じて、多くの方々より、決議を諮るにはより詳しい情報と、検証を行うことが必要との意見が出ております。</p>			
事業概要	<ul style="list-style-type: none">・ 地区協議会や会員会団等への出向いての説明会の開催・ コンプライアンスに則った諸規定等の編集・作成・ その他必要な活動			
代表者	亀山武弘（宮城県会団）			
部会メンバー	代表者による指名を受けた者で10名程度とする。			
対象者	日本木青連現役会員			

日本木材青壮年団体連合会

日本木材青壮年団体連合会
令和3年度 会団長 各位



日本木材青壮年団体連合会
令和3年度会長 松原 輝和
大会実行委員長 瀧澤 貴弘

「日本木材青壮年団体連合会 第67回全国会員北海道大会」のご案内

謹啓 時下ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

平素は、日本木材青壮年団体連合会（以下略称、日本木青連）の活動に多大なるご理解、ご尽力を賜りまして厚く御礼申し上げます。

令和3年度日本木青連は【WOOD ENTERTAINMENT～意味ある価値ある誰もが共感する「木の世界」の創造～】をスローガンに活動して参りました。その集大成の場として、第67回全国会員北海道大会を下記の通り開催する運びとなりました。

つきましては、会団ごとに代表者がOBの方々を含めて取りまとめいただきまして、令和4年3月25日～4月25日の登録期間内に専用ウェブサイトにて大会参加情報をご登録いただきますようお願いいたします。

また、コロナウィルス感染拡大の状況も考慮し状況次第ではWEBの併催も検討しております。

その際は、改めて皆様にご連絡させていただきます事をご了承いただきましたら幸甚と存じます。

北海道での大会開催は29年ぶりとなります。～北の国から2022'挑戦' 29年ぶりの感謝と新たな木財の可能性～をテーマと掲げ活気ある運営を目指しますので、全国より多くのご登録を宜しくお願い申し上げます。

なお、未だ新型コロナウイルスの収束が見えない中でのご参加にあたり、ご心配な面もおありと拝察しておりますが、当日は別紙の通り十分な予防対策を行いますので、ご理解とご協力を重ねてお願い申し上げます。

謹白

記

令和4年5月27日（金）	時間	会場
前夜祭受付	18:30 ～	札幌グランドホテル グランドホール ※住所連絡先は別紙パンフレットをご確認ください。
前夜祭	19:00 ～ 21:00	札幌グランドホテル グランドホール
令和4年5月28日（土）	時間	会場
大会受付	11:30 ～ 13:00	カナモトホール ホワイエ
大会式典	13:00 ～ 15:30	カナモトホール
記念講演	15:30 ～ 17:20	※住所連絡先は別紙パンフレットをご確認ください。
大懇親会	19:00 ～ 21:00	札幌グランドホテル グランドホール ※前夜祭と同会場
二次会	コロナウィルス感染拡大の状況を考慮し 不開催 とさせていただきます。	

登録料 : 前夜祭 12,000円 大会登録料 18,000円

大会登録 : 大会登録は専用ウェブサイトよりお願い致します。

登録用URL : <https://va.apollon.nta.co.jp/mokuseiren2022/>

登録期間 : 令和4年3月25日（金）～4月25日（月）

（登録料振込期限：令和4年4月28日（木）まで）

問合せ先①：株式会社日本旅行 高知支店 株式会社日本旅行 高知支店

E-mail : shigeki_ogami@nta.co.jp 担当：課長 小上 茂樹

問合わせ先②：事務局長：吉田 勝利 携帯 090-3395-4934 メール : sen@tomakomai-yoshida.com



登録用 QR コード

第 67 回全国会員北海道大会の参加に係る注意事項について

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、下記の対策を実施いたします。安心・安全な大会にすべく、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

1. 大会式典への参加について

- ご出発前に風邪の症状（発熱、咳、くしゃみ、喉の痛み、倦怠感、息苦しさ）がある方、身近に新型コロナウイルス感染症の患者や濃厚接触者がいる方はご来場をお控えください。その場合、全国大会実行委員会あてにご連絡をお願いします（事務局長：吉田 090-3395-4934）。
- 受付前に手指消毒を実施して、受付から閉会までマスクを必ず着用してください。
- 受付時に自動検温器にて体温の確認を行います。体温が 37.5 度以上の方の入場はお断りする場合がございますのであらかじめご了承ください。
- 会場内ではソーシャルディスタンスを十分に保っていただき、大声を出さないでください。
- 安心安全な大会にすべく、大会 2 週間前からの新型コロナウイルスに罹患する可能性のある行動はできるだけご遠慮ください。

2. 大懇親会への参加について

- 大懇親会にご参加される方は、各自可能な限りで結構ですので、ご自宅を出発される当日又は前日に抗原検査を実施してください。仮に、陽性反応が出た場合、又は、体調不良や急用等の理由で参加できなくなった場合は、全国大会実行委員会あてにご連絡をお願いします（事務局長：吉田 090-3395-4934）。
- 札幌グランドホテルでのエレベーターの利用は最大 5 名様まで、エスカレーターの利用は 5 段空けて利用してください。喫煙室の利用は最大 6 名様までとなっております。
- 受付前に手指消毒を実施して、受付から乾杯までマスクを必ず着用してください。
- 受付時に自動検温器にて体温の確認を行います。体温が 37.5 度以上の方の入場はお断りする場合がございますのであらかじめご了承ください。
- 乾杯後はマスクを外し、食事を食べ終わるまでは席から離れず、テーブル内での会話も控えめに大声は出さず飛沫が飛ばない程度のお声をお願いします。
- 食事を食べた後はマスクを着用した上で自由に席を移動してご歓談ください。この時も大声は出さずにソーシャルディスタンスを保ち、接触や回し飲みは避けてください。
- 常にこまめな手洗いと手指消毒を心がけてください。

日本木青連 令和4年度 見込み会員登録人数

No.	地区	会団名	R4見込み		R3		R2	
1	北海道	北海道木材青壮年団体連合会	79	79	81	81	86	86
2	東北	青森県木材クラブ	4	67	4	68	3	69
3		秋田県木材青壮年団体連合会	6		6		6	
4		岩手県木材青壮年協議会	28		28		28	
5		山形県木材青壮年協議会	4		3		3	
6		宮城県木材同友会	14		16		18	
7		福島県木材青壮年協会	11		11		11	
8		北信越	新潟県(H25に事務連絡もなくなる)		0		49	
9	富山県木材青壮年会(H24休会)		0	0	0			
10	長野県木材青壮年団体連合会		26	30	31			
11	石川県木材青壮年会		22	22	22			
12	福井県木材青壮年会		1	1	1			
13	関東	茨城県木材青壮年協会	11	57	11	59	14	80
14		栃木県木材青壮年会(H28に事務連絡)	1		1		1	
15		群馬県木材青年協会	1		1		1	
16		埼玉県木材青壮年連合会	0		0		7	
17		千葉県木材青壮年協議会	0		0		6	
18		東京木材青年クラブ	29		30		33	
19		神奈川県木材青壮年団体連合会	10		11		11	
20		静岡県木材青壮年団体連合会	4		4		6	
21		山梨県木材青壮年協議会	1		1		1	
22		東海	愛知県木材青壮年団体連合会		23		84	
23	岐阜県木材青壮年団体連合会		31	40	41			
24	三重県木材青壮年団体連合会		30	30	30			
25	近畿	奈良木材青壮年経営者協議会	45	141	43	150	45	157
26		滋賀木材青年経営者協議会	1		6		6	
27		京都木材青年経営者協議会	11		14		14	
28		大阪木材青年経営者協議会	37		43		50	
29		和歌山木成クラブ	7		6		5	
30		紀南木材新緑会	8		7		7	
31		兵庫県木材青年クラブ	32		31		30	
32	中四国	出雲木材青年経営者協議会(R2休会)	0	130	0	129	5	144
33		美作木材青壮年経営者協議会	25		24		23	
34		岡山木材青年会	25		24		25	
35		鳥取県木材青年経営者協議会(H27休会)	0		0		0	
36		福山木材青年協議会	11		10		13	
37		呉市木材青年経営者協議会	3		3		3	
38		広島木材青年経営者協議会	20		20		23	
39		広島県西部木材青年協議会	8		7		7	
40		山口木材倶楽部(H27休会)	0		0		0	
41		香川県木材青壮年団体連合会(H26休会)	0		0		0	
42		愛媛木材青年協議会	22		25		28	
43		高知県青年林材協会	16		16		17	
44	九州	福岡県木材青壮年連合会	35	176	38	177	38	189
45		佐賀県木材青壮年連合会	8		8		6	
46		長崎県木材青壮年連合会	9		8		8	
47		大分県木材青壮年連合会	22		26		26	
48		熊本県木材青壮年連合会	27		27		26	
49		宮崎県木材青壮年会連合会	70		65		80	
50		鹿児島県木材青壮年連合会	3		3		3	
51		沖縄県木材青壮年会	2		2		2	
計			783		783		812	

令和4年度 日本木材青壮年団体連合会 スローガン

『ともに』

とも
～同志と共に築く未来へ繋ぐ木青連の輪～

令和2年1月より国内で猛威を奮い始めた、新型コロナウイルス感染症は我々の生活環境を大きく変えました。世界規模でのパンデミックと共に今も尚、日本経済に大きな影響を及ぼしています。また、地球温暖化による気候変動により自然災害は日本各地で毎年の様に頻発し、台風や局地的な豪雨による被害は甚大になっています。そしてウッドショックという言葉が駆け巡り木材業界に激震が走りました。あらゆる木材製品の仕入価格は急騰し、供給不安に陥りました。また、販売価格への転嫁も迫られ、状況は一変しました。更に、我々を取り巻く経済環境も日々変化しており、AI や5G といった最新技術は、今後の我々木材業界を取り巻く環境に大きな変化をもたらすことになるでしょう。

さて、木青連関係者の皆様においても急激な環境の変化に対して不安を抱えている方も少なくないことかと思えます。私もその一人であります。しかし我々は、臆病になってはいけません。この変化を受け入れ、常に先を見据えた行動が求められます。私は、この様な現状に立ち向かい、『共に』未来を切り拓いていける仲間づくりができる事こそ、木青連の真価であると捉えています。我々は、『木』を中心に集う若き英知の輪であり、同志です。この唯一無二ともいえる『同志』とのつながりを積極的に活かし、サプライチェーンの最適化を推進し、これから先起こりうる困難に立ち向う足掛かりを構築していきます。

そして、木青連には約800名の会員が在籍しています。木材業界において会員数の多い木青連は様々な知識や情報を集約できるメリットがあります。しかし、会員の多くはそのメリットを活かしきれていないのも現状であります。

私は素材生産業を営んでおりますが、所属会団や所属地区での活動からできた『同志』との繋がりにより、事業での協力関係の強化や新規取引開拓ができました。更に、地域をこえた遠方の『同志』と情報交換や視察を通じて『共に』刺激を与え合う関係を構築することができました。私は、木青連に在籍することで知識や情報を集約でき、メリットを得た一人であります。ゆえに、令和4年度は会員の皆様が木青連に所属するメリットを得ていただけるような活動をします。その一つとして、まずは各会員間だけでなく各委員会や各地区、木材業界全体での連携を強化し、さらに木材以外の業界における連携を模索していきます。諸先輩方が築き上げた木青連を踏襲しつつ、変化を求められている今だからこそ最新技術を活用し新しいことにも挑戦していきます。そして、魅力ある木青連を発信することで次世代の木青連を支える人材と『共に』歩んでいきます。

私は令和4年度を、日本全国の仲間達と共に作り上げる1年とし、会員同士の協力の輪だけでなく、木青連の幹の年輪を重ねていき広げていく所存です。

何卒、皆様からのご支援、ご協力を賜りますように心からお願い申し上げます。

令和4年度 日本木材青壮年団体連合会

会長予定者 川井博貴

日本木材青壮年団体連合会 令和4年度 基本方針・運営方針・活動方針（案）

《基本方針》

- ・ 木材業界の次世代を担う木青連会員同士の交流を通じてサプライチェーンマネジメントを推進する
- ・ 木材業界の発展のため、さまざまな業界とのコラボレーションを推進する
- ・ 木青連会員のさまざまな意見を集約し、木青連発展に寄与する

《運営方針》

- ① 理事会の活性化のため、理事全員出席を基本に考え、積極的に意見や質問を発信しやすい雰囲気を醸成し発信してもらう場を作り、さらに会議の基本的な考えを理解し、協議・審議を尽くす理事会とする
- ② 委員会活動の活性化のため、全委員会を委員会を開催し、委員長・副会長・副委員長・委員と情報を共有する
- ③ 木材利活用のため、会員同士の情報交換を積極的に行い、相互啓発に努める
- ④ 国内で毎年発生する大規模災害時に際して、必要な支援・対応を迅速に行う

《活動方針》

1. 日本木青連が主催し地区協議会・単位会団に協力を依頼して行う事業
 - 1) 第 67 回全国会員北海道大会への協力と参画
 - 2) 第 68 回全国会員高知大会
 - 3) 第 47 回全国児童・生徒木工工作コンクール
 - 4) 第 26 回木材活用コンクール
 - 5) 木青連活動の広報活動
 - 6) 景況調査
 - 7) 林野庁他各関係省庁及び関係諸団体との情報交換会
 - 8) ウッドトランスフォーム担当の事業部会の展開
 - 9) 会員の人間力・事業力向上を目指した講演会の開催
 - 10) SDGs をより普及・啓発、事業活動に活用するために必要な活動
 - 11) 日本木青連に所属する各地区および各団体の意見集約活動
 - 12) 関係諸団体が主催する事業
 - 13) その他、上記に付帯する事項
2. 日本木青連が会を運営し活動を進めるために開催する会議等
 - 1) 定時総会
 - 2) 臨時総会
 - 3) 常任理事会

- 4) 理事会
 - 5) 各委員会
 - 6) 全国会団長会議
3. 日本木青連が提唱し、地区協議会・単位会団と共に行う根幹となる運動と事業
- 1) 木材利用推進、社会的な木材利用の意義を啓発する事業
 - 2) 木青連の会員拡大の推進・拡大手法の共有化
 - 3) 木青 NET の更新・木青連活動の PR 事業
 - 4) ホームページの更新・SNS 等を活用した、会員相互間の情報発信・情報提供
 - 5) 各民間諸団体・関連省庁との横断的交流
 - 6) 環境意識の変化や税法変更に伴う、新たな政策提言

日本木材青壮年連合会 令和4年度 役員・委員会紹介

役員

- ① 会 長 : 川井 博貴 (中四国)
本会を代表し職務を主宰する
- ② 直前会長 : 松原 輝和 (北海道)
 1. 理事会に出席して運営・活動に対してアドバイスをを行う。
 2. 但し、理事会における議決権は有さない
- ③ 代行副会長 : 島田 直政 (北信越)
 1. 会長を補佐し、会長に事故あるときはその職務を代行する
 2. 木青連活性化委員会 (地区長・会団長会議) の主宰
- ④ 副会長 : 砂田 雄太郎 (中四国)
 1. 会長を補佐し、職務を処理する
 2. 木材活用委員会を担当する
- ⑤ 副会長 : 田口 房国 (東海)
 1. 会長を補佐し、職務を処理する
 2. コラボレーション推進委員会を担当する
- ⑥ 副会長 : 山崎 和昭 (東北)
 1. 会長を補佐し、職務を処理する
 2. SCM 推進委員会・広報委員会を担当する
- ⑦ 副会長 : 吉田 勝利 (北海道)
 1. 会長を補佐し、職務を処理する
 2. 木育創造委員会を担当する
- ⑧ 会長補佐 : 中岡 昌三 (中四国)
 1. 特定のプロジェクト等について会長を補佐し、職務を処理する
 2. 緊急に対応すべき事態が発生した際、担当窓口として職務に当たる
 3. SDGs に関する対応を担当する
 4. 新規頒布事業の企画および実行を担当する
- ⑨ 会長補佐 : 三渡 保典 (近畿)
 1. 特定のプロジェクト等について会長を補佐し、職務を処理する
 2. 緊急に対応すべき事態が発生した際、担当窓口として職務に当たる
 3. 日本木青連所属地区および団体の意見集約を担当する
- ⑩ 専務理事 : 寺見 良太 (中四国)
 1. 会長及び副会長を補佐し、職務を処理し、庶務全般を司る
 2. 渉外交流委員会・事務局・総務委員会・財務委員会を担当する
 3. 業界団体および異業種団体との連携に関する事項を担当する

4. 予算執行状況の管理
 5. 賛助会員・協力企業団体との連携を担当する
- ③ 広報委員会
- 委員長：野邑 真路（東北）
1. 会員向けおよび対外的な広報活動全般
 2. 日本木青連会員の活動情報収集および発信
 3. 電子媒体を利用したウッディレターの編集および配信
 4. ホームページ「木青NET」の管理・運営
 5. 景況調査に関する事項
- ④ 木育創造委員会
- 委員長：久保 光一郎（九州）
1. 全国児童・生徒木工工作コンクールの実施
 2. 各地木工工作事業、コンクールの支援
 3. 「木育」の普及、啓発活動の推進
- ⑤ 木材活用委員会
- 委員長：渡辺 健人（関東）
1. 木材活用コンクールの企画、運営
 2. 受賞作品説明会の実施
 3. 木材活用未来会議の実施
- ⑥ 全国大会実行委員会
- 委員長：笹岡 輝久（中四国）
1. 第68回全国高知大会の企画と実施
 2. 地域交流、会員交流の推進
- ⑦ サプライチェーンマネジメント（SCM）推進委員会
- 委員長：高橋 暢介（東北）
1. 木青連会員同士のつながりを強化し、サプライチェーンの構築を目指す
 2. 総務委員会と連携し会員検索システムの活用
 3. 各会団のSCM実施状況の情報収集
- ⑧ コラボレーション推進委員会
- 委員長：中塚 修平（中四国）
1. さらなる森林活用、木材活用のために木材業界に関わりの少ない企業・団体とのコラボレーションの可能性を模索する
 2. コラボ先企業候補をリスト化
 3. 日本木青連の強みを生かし候補企業へのコラボ推進活動
 4. コラボ先企業と会員を繋ぐ

⑨ 木青連活性化委員会

委員長：島田 直政（北信越） ※代行副会長兼務

1. 令和5年度の活動を見据えた企画の検討
2. 各会団活動における課題解決の支援、情報提供等
3. 会員拡大活動支援

⑩ 木青連の山管理運営委員会

委員長：川井 博貴（中四国地区） ※会長兼務

静岡県に所在する木青連の山の管理および維持

⑪ 木材産業振興基金特別委員会

委員長：松原 輝和（北海道） ※直前会長兼務

特別会計としての基金の管理

事務局

住所：〒135-0041 東京都江東区冬木 6-14 飯沼ビル 102 号

電話：03-5620-4806

ファックス：03-5620-4809

E-mail：info@mokusei.net

ホームページ：<http://www.mokuseiren.jp/>

事務局員：川端 咲子

顧問

大島 理森 氏 元衆議院議長 元自由民主党副総裁

古久保 英嗣 氏（公財）日本住宅・木材技術センター理事長

有馬 孝禮 氏 東京大学名誉教授 元宮崎県木材利用技術センター所長

【 顧問経歴 】

大島 理森（おおしま ただもり） 昭和21年9月6日生

昭和45年 3月 慶応義塾大学法学部法律学科 卒業

昭和45年 4月 毎日新聞社 入社

昭和49年 7月 同社 退社

昭和50年 4月 青森県議会議員 当選

昭和58年12月 衆議院議員 当選

平成 2年 2月 内閣官房副長官

平成 7年 8月 国務大臣・環境庁長官

平成11年 5月 衆議院議員運営委員長

平成12年 7月 文部大臣・科学技術庁長官
平成12年12月 自由民主党国会対策委員長
平成14年 9月 農林水産大臣
平成17年11月 衆議院予算委員長
平成19年 8月 自由民主党国会対策委員長
平成21年 9月 自由民主党幹事長
平成22年 9月 自由民主党副総裁
平成25年 1月 自由民主党東日本大震災復興加速化本部本部長
平成26年 9月 衆議院予算委員長
平成27年 4月 衆議院議長
平成29年11月 衆議院議長に再任

古久保 英嗣（ふるくぼ えいじ） 昭和31年11月6日生

昭和55年 3月 東京大学農学部林産学科 卒業
昭和55年 4月 林野庁 入庁
平成18年 1月 林野庁森林整備部整備課長
平成21年 9月 東北森林管理局長
平成22年 7月 林野庁国有林野部長
平成23年 8月 林野庁森林整備部長
平成25年 7月 北海道森林管理局長
平成28年 3月 林野庁 退職
平成28年 6月（公財）日本住宅・木材技術センター理事長（現在に至る）

有馬 孝禮（ありま たかのり） 昭和17年1月3日生

昭和40年 3月 東京大学農学部林産化学科 卒業
昭和40年 4月 東京大学大学院農学系研究科林産学専門課程
修士課程修了
昭和42年 4月 東京大学農学部助手
昭和49年 4月 建設省建築研究所研究員
昭和56年 4月 静岡大学農学部助教授
昭和62年 4月 東京大学農学部助教授
平成 8年 8月 東京大学大学院農学生命科学研究科教授
平成15年 4月 宮崎県木材利用技術センター所長
平成15年 6月 東京大学名誉教授
平成23年 3月 宮崎県木材利用技術センター所長 退任（現在に至る）

顧問
大島 理森
古久保 英嗣
有馬 孝雄

監事
長谷川 泰治 (東京) 関東
小日向 直人 (北海道) 北海道

直前会長
松原 輝和 (北海道) 北海道

総会
理事会
会長
川井 博貴 (高知) 中四国

木青連の山管理運営委員会
委員長(会長兼務)
川井 博貴 (高知) 中四国

木材産業振興基金特別委員会
委員長(直前会長兼務)
松原 輝和 (北海道) 北海道

会長補佐
三渡 保典 (兵庫) 近畿
中岡 昌三 (高知) 中四国

日本木材青年団体の2022年度臨時役員会??
部会長
鈴木 興太郎 (愛知) 東海

政策提言部会
部会長
落合 賢治 (三重) 東海

ウッドライフシステム商品化部会
部会長
多田 啓 (福岡) 九州

代行副会長
島田 直政 (長野) 北信越

副会長
田口 房国 (岐阜) 東海

副会長
山崎 和昭 (福島) 東北

副会長
吉田 勝利 (北海道) 北海道

副会長
砂田 雄太郎 (愛媛) 中四国

専務理事
寺見 良太 (岡山) 中四国

木青連活性化委員会
委員長
島田 直政 (長野) 北信越

コラボレーション推進委員会
委員長
中塚 修平 (岡山) 中四国

SCM推進委員会
委員長
高橋 輔介 (宮城) 東北

広報委員会
委員長
野色 真路 (岩手) 東北

木青創造委員会
委員長
久保 光一郎 (宮崎) 九州

木材活用委員会
委員長
渡辺 健人 (東京) 関東

全国大会実行委員会
委員長
笹岡 輝久 (高知) 中四国

総務委員会
委員長
佐藤 航平 (福山) 中四国

財務委員会
委員長
田中 俊章 (長野) 北信越

副委員長
土倉 宣也 (長野) 北信越
田中 一興 (長野) 北信越
笠澤 一吉 (長野) 北信越
田中 博文 (長野) 北信越
大蔵 俊介 (長野) 北信越

副委員長
眞貝 真 (北海道) 北海道
荒川 敦郎 (福島) 東北
由井 正宏 (長野) 北信越
宮田 昌幸 (神奈川) 関東
村山 友泰 (岐阜) 東海
広江 良行 (岡山) 中四国
鶴川 秀樹 (福岡) 九州
吉村 博史 (長崎) 九州

副委員長
鈴木 謙司郎 (福島) 東北
森本 聡 (宮城) 東北
駒井 範史 (青森) 東北
谷地 謙 (岩手) 東北
青木 健太郎 (東京) 関東
矢野 広暁 (美作) 中四国
須江 健治 (美作) 中四国
宮崎 俊輔 (鹿児島) 九州

副委員長
端場 進一 (北海道) 北海道
上田 康弘 (岩手) 東北
川越 敏朗 (石川) 北信越
中村 広壽 (神奈川) 関東
中嶋 慎 (愛知) 東海
野地 伸幸 (三重) 東海
井森 真久 (岐阜) 東海
松波 一 (大阪) 近畿
樋口 正樹 (美作) 中四国
平川 典秀 (福岡) 九州
藤佛 英之 (福岡) 九州

副委員長
山本 純也 (北海道) 北海道
笹原 充博 (山形) 東北
吉谷 隆明 (石川) 北信越
伊藤 仁司 (茨城) 関東
野地 良成 (三重) 東海
井上 和宜 (兵庫) 近畿
高橋 優行 (奈良) 近畿
田丸 大資 (広島) 中四国
北條 嘉史 (宮崎) 九州
持永 和宜 (宮崎) 九州

副委員長
安藤 啓太 (北海道) 北海道
小笠原 大輔 (秋田) 東北
三谷 昌弘 (石川) 北信越
市之瀬 嘉樹 (東京) 関東
梅谷 雄高 (愛知) 東海
中川 達也 (京都) 近畿
伊藤 喜樹 (大阪) 近畿
野瀬 正樹 (滋賀) 近畿
伊藤 大樹 (愛媛) 中四国
小河 勇貴 (大分) 九州

副委員長
瀧澤 貴弘 (北海道) 北海道
高崎 淳貴 (長野) 北信越
釜村 亮 (長野) 北信越
牧野 泰斗 (美作) 中四国
岸本 直樹 (広島) 中四国
小城 高嗣 (長西) 中四国
大倉 康弘 (愛媛) 中四国
小松 誠二 (愛媛) 中四国
藤井 貴規 (愛媛) 中四国
尾崎 徳七 (高知) 中四国
坂本 一 (高知) 中四国
中平 徹 (高知) 中四国
味元 雄也 (高知) 中四国

副委員長
田家 岳司 (北海道) 北海道
村本 大 (石川) 北信越
岡崎 俊樹 (和歌山) 近畿
氏平 雄人 (美作) 中四国
岩井 祐介 (広島県西) 中四国
松浦 啓文 (福山) 中四国
徳毛 洋二 (福山) 中四国
大森 雄 (愛媛) 中四国
松尾 壮一郎 (佐賀) 九州

副委員長
内山 博哉 (東京) 関東

JC出向常任理事
吉田 敦彦

事務局長
川福 咲子

委員
小田 奈々 (北海道) 北海道
村山 恵一 (北海道) 北海道
三瓶 隆道 (福島) 東北
角永 隆隆 (石川) 北信越
川崎 穂積 (茨城) 関東
市之瀬 嘉樹 (東京) 関東
佐野 健太 (岐阜) 東海
朝岡 健至 (和歌山) 近畿
杉下 和人 (兵庫) 近畿
大塚 淳史 (岡山) 中四国
田中 博 (岡山) 中四国
新居 博人 (岡山) 中四国
野崎 健太郎 (岡山) 中四国
徳永 洋文 (長崎) 九州

委員
堀 正臣 (北海道) 北海道
石垣 光一郎 (宮城) 東北
坂田 庄蔵 (長野) 北信越
鈴木 諭 (静岡) 関東
松波 元 (愛知) 東海
森本 達郎 (奈良) 近畿
中島 悠 (美作) 中四国
小柳 伊佐義 (長崎) 九州

委員
高田 真太郎 (北海道) 北海道
坂東 学 (岩手) 東北
稲村 崇史 (岩手) 東北
杉山 存志 (石川) 北信越
加藤 洋司 (茨城) 関東
友野 義正 (神奈川) 関東
福山 康広 (三重) 東海
早川 甲介 (岐阜) 東海
岡田 和也 (京都) 近畿
高橋 拓己 (美作) 中四国
西川 貴章 (美作) 中四国
古賀 健司 (福岡) 九州

委員
片岡 福太郎 (北海道) 北海道
菅井 正貴 (山形) 東北
金井 桂 (石川) 北信越
小川 和久 (茨城) 関東
尾山 晴奈 (三重) 東海
伊勢戸 信司 (京都) 近畿
中瀬 達也 (大阪) 近畿
加藤 浩一 (広島) 中四国
朝信 武士 (広島) 中四国
竹田 航也 (宮崎) 九州

委員
高橋 謙太郎 (北海道) 北海道
大坂 元 (秋田) 東北
加藤 昇大 (石川) 北信越
井内 清貴 (東京) 関東
清水 秀晃 (東京) 関東
片桐 洋介 (愛知) 東海
谷俣 康太 (奈良) 近畿
堀本 周平 (愛媛) 中四国
田中 陽裕 (岡山) 中四国
山根 徹也 (岡山) 中四国
権藤 敏裕 (大分) 九州

委員
宮澤 薫 (長野) 北信越
日根 敬 (和歌山) 近畿
田和 良介 (兵庫) 近畿
横尾 幸政 (兵庫) 近畿
若本 利直 (岡山) 中四国
小田 丈仁 (広島) 中四国
川原 孝三 (高知) 中四国
小林 幸一 (高知) 中四国
塩見 武尊 (高知) 中四国
廣松 統哉 (高知) 中四国

委員
中島 寛也 (北海道) 北海道
波紫 慎太郎 (青森) 東北
中嶋 章 (長野) 北信越
吉本 拓生 (大阪) 近畿
近藤 福太郎 (福山) 中四国
柳川 浩之 (福山) 中四国
山口 祥平 (佐賀) 九州

- 1. 令和5年度の活動を見据えた企画の検討
2. 各会団活動における課題解決の支援、情報提供等

- 1. さらなる森林活用、木材活用のために木材業界に関わりの少ない企業・団体とのコラボレーションの可能性を模索する
2. コラボ先企業候補をリスト化
3. 日本木材青連の強みを生かし、候補企業へのコラボ推進活動
4. コラボ先企業と会員を繋ぐ

- 1. 木青連会員同士のつながりを強化し、サプライチェーンの構築を目指す
2. 総務委員会と連携し、会員検索システムの活用
3. 各会団のSCM実施状況の情報収集

- 1. 会員向けおよび対外的な広報活動全般
2. 日本木材青連会員の活動情報収集および発信
3. 電子媒体を利用したウッドレターの編集および配信
4. ホームページ「木青NET」の管理・運営
5. 景況調査に関する事項

- 1. 全国児童・生徒木工ワークショップの実施
2. 各地木工工作事業、コンクールの支援
3. 「木育」の普及、啓発活動の推進

- 1. 木材活用コンクールの企画、運営
2. 受賞作品説明会の実施
3. 木材活用未来会議事業の実施

- 1. 第68回全国会員中四国高知大会の企画と実施
2. 地域交流、会員交流の推進

- 1. 会議の準備、運営庶務全般、会員情報の管理(会員名簿の作成)
2. 情報伝達の改善(理事会参加率向上)
3. 文庫、帳簿類の管理
4. 日本木材青連資産の管理
5. 日本木材青連個人情報取扱規定の運用、改善
6. 「環境憲章」および「環境行動計画」の周知・普及の徹底

- 1. 財務関係全般
2. 事業収支に関する事項
3. 収支予算決算の管理
4. 予算執行状況の管理
5. 賛助会員・協力企業団体との連携を担当する

北海道地区
地区担当常任理事
江崎 亮 (北海道) 北海道

東北地区
地区担当常任理事
峯岸 宏典 (宮城) 東北

北信越地区
地区担当常任理事
濱田 亨 (石川) 北信越

関東地区
地区担当常任理事
杉山 岳人 (静岡) 関東

東海地区
地区担当常任理事
山本 洋 (三重) 東海

近畿地区
地区担当常任理事
吉原 弘二 (奈良) 近畿

中四国地区
地区担当常任理事
田丸 昌平 (広島) 中四国

九州地区
地区担当常任理事
佐藤 圭一郎 (熊本) 九州

会団長理事
田家 元明 (北海道) 北海道

会団長理事
工藤 公太郎 (青森) 青森
木村 大騎 (秋田) 秋田
中川原 壮一 (岩手) 岩手
漆山 達也 (山形) 山形
寺島 信弘 (宮城) 宮城
山崎 和昭 (福島) 福島

会団長理事
富山
田村 統一 (長野) 長野
森 昌平 (石川) 石川
福井
新潟

会団長理事
野上 通宏 (茨城) 茨城
平田 公平 (群馬) 群馬
浅沼 直人 (千葉) 千葉
青木 健太郎 (東京) 東京
横山 孝行 (神奈川) 神奈川
柳川 雄亮 (静岡) 静岡
長田 一平 (山梨) 山梨

会団長理事
河津 裕之 (愛知) 愛知
柿下 幸司 (岐阜) 岐阜
森下 智彦 (三重) 三重

会団長理事
卜部 泰彦 (奈良) 奈良
海老名 寛行 (京都) 京都
清水 文孝 (大阪) 大阪
奥 重貴 (和歌山) 和歌山
野地 陽介 (和歌山) 和歌山
有馬 輝行 (兵庫) 兵庫

会団長理事
鳥取
出雲
氏平 祥光 (美作) 美作
逸見 誠治 (岡山) 岡山
佐々木 貴規 (福山) 福山
山本 浩生 (呉) 呉
浜田 茂 (広島) 広島
児玉 泰斗 (長西) 広島西部

会団長理事
三瀬 宏士 (福岡) 福岡
黒岩 直 (佐賀) 佐賀
田代 洋典 (長崎) 長崎
志賀 陽太 (大分) 大分
観本 篤史 (熊本) 熊本
河島 亮 (宮崎) 宮崎
宮崎 俊輔 (鹿児島) 鹿児島
小渡 祐史 (沖縄) 沖縄

日本木材青壮年団体連合会 令和4年度 会議等日程（案）

令和4年2月25日更新

年	日程	金	会議名称	場所	
令和3	12/3	金	第1回 常任理事予定者会議	高知(WEB)	
令和4	1/15	土	第2回 常任理事予定者会議	WEB	
	2/25	金	第3回 常任理事予定者会議	WEB	
	3/4	金	第1回 理事予定者会議	WEB	
	4/8	金	第1回 常任理事会	WEB	
	4/15	金	新任挨拶回り	東京	議員会館他
	4/16	土	第1回 理事会	東京(WEB)	江東区江東公会堂（ティアラこうとう）
	5/20	金	第2回 常任理事会	WEB	
	5/27	金	第2回 理事会 & 第135回 通常総会	札幌(WEB)	札幌カナモトホール
	5/28	土	第67回 全国会員北海道札幌大会	札幌(WEB)	札幌カナモトホール
	9/9	金	第3回 常任理事会	WEB	
	9/17	土	第3回 理事会	宮城(WEB)	
	11/11	金	第4回 常任理事会	WEB	
	11/19	土	第4回 理事会	東海(WEB)	
令和5	1/13	金	新年挨拶回り & 第5回 常任理事会	東京(WEB)	
	1/14	土	第5回 理事会	東京(WEB)	
	3/4	土	第6回 常任理事会 & 理事会 & 第136回 臨時総会	宮崎(WEB)	
	6/2	金	第7回 常任理事会 & 理事会	高知(WEB)	ホテル日航旭ロイヤル
	6/3	土	第68回 全国会員高知大会	高知	高知県立県民文化ホール

地区	主管団体	開催予定日	開催予定地
北海道	北海道木材青壮年団体連合会	未定	北海道
東北	宮城県木材同友会	9/17（土）	宮城
北信越	石川県木材青壮年会		
関東	静岡県木材青壮年団体連合会		
東海	三重県木材青壮年団体連合会		三重
近畿	奈良県木材青年経営者協議会	2/18（土）	奈良
中四国	広島県木材青年経営者協議会	9/10（土）	広島
九州	熊本県木材青壮年連合会	11/12（土）	熊本

会員動向

令和3年度 退会会員

[東信木青連]

松木 達征（まつき たつゆき）君
（有）伊藤木材

山浦 豊弘（やまうら とよひろ）君
山浦木材建材（株）

[松本材青会]

唐木 隆明（からき たかあき）君
（株）唐木建築工業所

降幡 聡（ふりはた さとし）君
山共建設（株）

百瀬 康弘（ももせ やすひろ）君
（株）百瀬木材

令和4年度 新入会員

[松本材青会]

佐原 輝彦（さはら てるひこ）君
（株）佐原建設

【第1号議案】

令和4年度 事業計画(案)

【1】長野県木青連が基本方針に基づき、会員、単位会団、ブロック並びに関係諸団体と連携して行う会議

- (1) 定時総会
- (2) 理事会
- (3) 県、中部森林管理局、関係団体との懇談会

【2】長野県木青連が主催し、各単位会団、個人会員に協力を依頼して行う事業

- (1) 第63回県会員東信大会
- (2) 第45回長野県児童・生徒木工工作コンクール
- (3) PRカレンダーの斡旋
- (4) 木工教室
- (5) 会員拡大
- (6) 木青連だよりの発行

【3】各単位会団、ブロックが主催し長野県木青連が協力して行う事業

- (1) 木材PR事業

【4】日本木青連が主催し、各単位会団、各県木青連に協力を依頼して行う事業

- (1) 第67回全国会員北海道大会
- (2) 第47回全国児童・生徒木工工作コンクール
- (3) 第26回日本木青連木材活用コンクール
- (4) ウッディレターの配信
- (5) 総会、理事会、委員会

【5】地区協議会が主催し、各単位会団、各県木青連に協力を依頼して行う事業

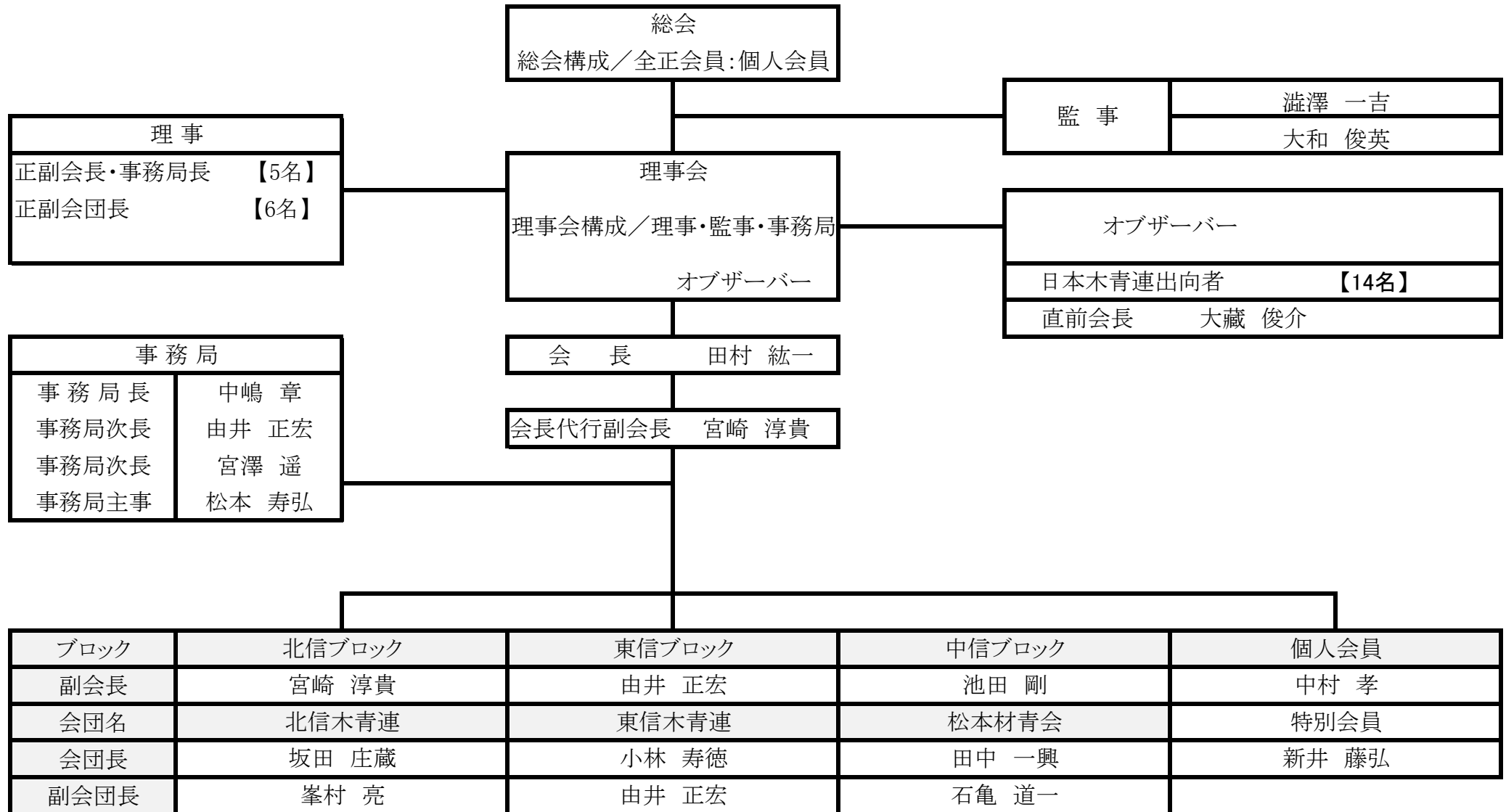
- (1) 北信越地区会員大会
- (2) 北信越地区協議会

【6】関係諸団体等が主催し、長野県木青連、ブロック、単位会団が協力して行う事業

- (1) 長野県県産材振興対策協議会が主催する事業
- (2) 長野県木材協同組合連合会が主催する事業
- (3) 長野県木材振興基金が主催する事業
- (4) 県、中部森林管理局等が主催する事業

【第1号議案】

令和4年度 長野県木材青壮年団体連合会 組織図(案)



【第1号議案】

運営・活動・職務分担(案)

(1)正副会長

役職名	氏名	担当職務内容
会長	田村 紘一	1)全体包括
直前会長	大藏 俊介	1)包括意見
会長代行副会長	宮崎 淳貴	1)会長職務補佐・代行
		2)理事会議長
		3)次年度関係包括
		4)PR活動(カレンダー斡旋)担当
副会長	由井 正宏	1)総務・財務担当
		2)理事会・諸会議企画運営進行
副会長	池田 剛	1)児童生徒木工工作コンクール担当

(2)監事

役職名	氏名	担当職務内容
監事	澁澤 一吉	1)事業・財務監査担当
監事	大和 俊英	1)事業・財務監査担当

(3)事務局

役職名	氏名	担当職務内容
事務局長	中嶋 章	1)事務局統括担当
		2)木青連だより編集担当
		3)ホームページ担当
事務局次長	由井 正宏	1)事務局長補佐担当
		2)次年度関係事務担当
事務局次長	宮澤 遥	1)事務局長補佐担当
		2)木青連だより編集担当
		3)次年度関係事務担当
事務局主事	松本 寿弘	1)関係団体渉外担当
		2)文章・資料保管事務担当
		3)ホームページ補佐担当

【第1号議案】

令和4年度 事業日程(案)

月	長野県木材青壮年団体連合会		北信越地区協議会		日本木材青壮年団体連合会	
	日	内容	日	内容	日	内容
3月					4(金)	第1回理事予定者会議 (WEB会議)
4月	9(土)	令和4年度 理事予定者会議			15(金)	新任挨拶廻り(常任理事以上)
					16(土)	第1回理事会 (東京WEB会議)
5月	14(土)	第63回県会員東信大会			27(土)	第2回理事会・第135回通常総会 (札幌WEB会議)
					28(日)	第67回 全国会員北海道札幌大会 (札幌WEB会議)
6月						
7月	9(土)	第1回正副会長・事務局会議				
		第1回理事会				
8月	13(土)	第2回正副会長・事務局会議				
		第2回理事会				
9月					17(土)	第3回理事会 (宮城WEB会議)
10月	7(金)	木工工作コンクール審査会				
11月	未定	第3回正副会長・事務局会議	未定	北信越地区協議会(長野)	19(土)	第4回理事会 (東海WEB会議)
	未定	第3回理事会				
	未定	木工工作コンクール表彰式				
12月						
令和5年 1月					13(金)	新年挨拶廻り(常任理事以上)
					14(土)	第5回理事会 (東京WEB会議)
2月	未定	第4回正副会長・事務局会議	未定	北信越地区協議会・石川大会		
		第4回理事会				
3月	未定	正副事務局引き継ぎ会議			4(土)	第6回理事会・第136回臨時総会 (宮崎WEB会議)

【第4号議案】

令和4年度 長野県木青連役員・出向者(案)

区分	役職	氏名	所属	ブロック	備考
理事	会長	田村 紘一	東信木青連	東信	
	直前会長	大藏 俊介	松本材青会	中信	
	監事	澁澤 一吉	北信木青連	北信	
	監事	大和 俊英	松本材青会	中信	
理事	代行副会長	宮崎 淳貴	北信木青連	北信	
理事	副会長	由井 正宏	東信木青連	東信	
理事	副会長	池田 剛	松本材青会	中信	
理事	北信木青連 会団長	坂田 庄蔵	北信木青連	北信	
理事	北信木青連 副会団長	峯村 亮	北信木青連	北信	
理事	東信木青連 会団長	小林 寿徳	東信木青連	東信	
理事	東信木青連 副会団長	由井 正宏	東信木青連	東信	
理事	松本材青会 会団長	田中 一興	松本材青会	中信	
理事	松本材青会 副会団長	石亀 道一	松本材青会	中信	
理事	事務局長	中嶋 章	東信木青連	東信	
	事務局次長	由井 正宏	東信木青連	東信	
	事務局次長	宮澤 遼	北信木青連	北信	
	事務局主事	松本 寿弘	県木連		
日本木青連 出向	常任理事 代行副会長兼木青連活性化委員長	島田 直政	東信木青連	東信	
日本木青連 出向	常任理事 財務委員会 委員長	田中 俊章	東信木青連	東信	
日本木青連 出向	理事 会団長	田村 紘一	東信木青連	東信	
日本木青連 出向	理事 コラボレーション推進委員会 副委員長	由井 正宏	東信木青連	東信	
日本木青連 出向	理事 全国大会実行委員会 副委員長	宮崎 淳貴	北信木青連	北信	
	理事 全国大会実行委員会 副委員長	峯村 亮	北信木青連	北信	
日本木青連 出向	理事 木青連活性化委員会 副委員長	澁澤 一吉	北信木青連	北信	
	理事 木青連活性化委員会 副委員長	土倉 宜也	北信木青連	北信	
	理事 木青連活性化委員会 副委員長	田中 博文	東信木青連	東信	
	理事 木青連活性化委員会 副委員長	大藏 俊介	松本材青会	中信	
	理事 木青連活性化委員会 副委員長	田中 一興	松本材青会	中信	
日本木青連 出向	総務委員会 委員	中嶋 章	東信木青連	東信	
日本木青連 出向	SCM推進委員会 委員	坂田 庄蔵	北信木青連	北信	
日本木青連 出向	全国大会実行委員会 委員	宮澤 薫	北信木青連	北信	
北信越地区 出向	北信越地区協議会 県会団代表	田村 紘一	東信木青連	東信	(県会長)
北信越地区 出向	北信越地区協議会 県会団代表	宮崎 淳貴	北信木青連	北信	(県代行副会長)
北信越地区 出向	北信越地区協議会 県会団代表	中嶋 章	東信木青連	東信	(事務局長)
北信越地区 出向	北信越地区協議会 県会団代表	宮澤 遼	北信木青連	北信	(事務局次長)
協力企業	オブザーバー	日野原 和仁	共立プランニング		

令和4年度 出向者(案)

(1) 日本木材青壮年団体連合会

常任理事	代行副会長兼木青連活性化委員長	島 田 直 政	【東信木青連】
常任理事	財務委員会 委員長	田 中 俊 章	【東信木青連】
理事	会 団 長	田 村 紘 一	【東信木青連】
理事	コラボレーション推進委員会 副委員長	由 井 正 宏	【東信木青連】
理事	全国大会実行委員会 副委員長	宮 崎 淳 貴	【北信木青連】
理事	全国大会実行委員会 副委員長	峰 村 亮	【北信木青連】
理事	木青連活性化委員会 副委員長	澁 澤 一 吉	【北信木青連】
理事	木青連活性化委員会 副委員長	土 倉 宜 也	【北信木青連】
理事	木青連活性化委員会 副委員長	田 中 博 文	【東信木青連】
理事	木青連活性化委員会 副委員長	大 藏 俊 介	【松本材青会】
理事	木青連活性化委員会 副委員長	田 中 一 興	【松本材青会】
	総務委員会 委員	中 嶋 章	【東信木青連】
	SCM推進委員会 委員	坂 田 庄 蔵	【北信木青連】
	全国大会実行委員会 委員	宮 澤 薫	【北信木青連】

(2) 日本木材青壮年団体連合会 北信越地区協議会

県会団代表	田 村 紘 一	【東信木青連】
県会団代表	宮 崎 淳 貴	【北信木青連】
県会団代表	中 嶋 章	【東信木青連】
県会団代表	宮 澤 遥	【北信木青連】

(3) 長野県木材産業振興基金

理事	田 村 紘 一	【東信木青連】
理事	宮 崎 淳 貴	【北信木青連】
評議員	由 井 正 宏	【東信木青連】
評議員	中 嶋 章	【東信木青連】

(4) 長野県県産材振興対策協議会

理事	田 村 紘 一	【東信木青連】
幹事	中 嶋 章	【東信木青連】
監事	宮 崎 淳 貴	【北信木青連】

(5) 長野県木材産業政治連盟

副会長	田 村 紘 一	【東信木青連】
委員	宮 崎 淳 貴	【北信木青連】

(6) (公財)長野県緑の基金

評議員	澁 澤 一 吉	【北信木青連】
-----	---------	---------

令和4年度 収支予算（案）

【収入の部】

大項目	中項目	前年度予算	令和4年予算	摘要
会費収入	会員割会費	332,800	291,200	@10,400×28名
	PR会費	960,000	840,000	@30,000×28名
	小計	1,292,800	1,131,200	
事業収入	補助事業	1,050,000	1,050,000	県補助事業
	PRカレンダー	1,450,000	1,450,000	PRカレンダー幹旋事業
	日本木青連カレンダー	0	0	
	小計	2,500,000	2,500,000	
その他収入	木材産業振興基金	200,000	200,000	人材育成事業費
	ウッドilter購読料	78,000	67,600	@2,600×26名
	雑収入	100,336	100,843	イスキット等販売事業等
	小計	378,336	368,443	
	収入小計	4,171,136	3,999,643	
前期繰越金		2,133,864	1,756,357	R4.4.9暫定金額
収入合計		6,305,000	5,756,000	

【支出の部】

大項目	中項目	前年度予算	令和4年予算	摘要
負担金	県産材振興対策協議会	30,000	30,000	
	日本木青連	138,000	119,600	会費@4,600×26名
	その他	150,000	150,000	関係外部団体等会費ほか
	小計	318,000	299,600	
PR事業費	会団PR事業費	186,000	121,500	添付資料参照
	県木工工作コンクール事業費	1,330,000	1,330,000	
	県PR事業費	300,000	300,000	
	PRパンフレット印刷費	220,000	70,000	PRパンフレット作成等
	IT関連費	8,000	8,000	ホームページ維持費ほか
	PRカレンダー	1,293,000	1,293,000	PRカレンダー幹旋事業
	日本木青連カレンダー	0	0	
	ウッドilter購読料	72,000	62,400	@2,400×26名
	小計	3,409,000	3,184,900	
大会費	県大会開催費	50,000	50,000	
事業運営費	理事会・正副事務局会議・諸会議費	150,000	150,000	日本出向交通費@2,000円を含む
	県木連・県林務部等懇談会費	50,000	50,000	
	北信越地区会員大会費	50,000	0	
	親睦事業費	100,000	0	
	小計	350,000	200,000	
事務局費	印刷費	350,000	350,000	会員手帳・木青連だより・その他
	通信費	30,000	30,000	振込手数料・切手代・運搬費
	慶弔費	50,000	50,000	
	雑費	50,000	50,000	
	小計	480,000	480,000	
	予備費	1,698,000	1,541,500	
支出合計		6,305,000	5,756,000	

収入合計		6,305,000	5,756,000	
支出合計		6,305,000	5,756,000	
差額		0	0	

[第2号議案]

【会費明細書】

会団名	会員数	単価	会員割会費	単価	PR会費	合計
北信木青連	9名	13,000	117,000	30,000	270,000	387,000
東信木青連	8名	13,000	104,000	30,000	240,000	344,000
松本材青会	9名	13,000	117,000	30,000	270,000	387,000
個人会員	1名	10,400	10,400	30,000	30,000	40,400
特別会員	1名	10,400	10,400	30,000	30,000	40,400
合計	28名		358,800		840,000	1,198,800

※ 会員割会費@13,000円 = 会費@10,400円 + ウッディレター購読料@2,600円

【会団PR事業費(会費拠出額)】

会団名	拠出額	備考(PR会費の15%)
北信木青連	40,500	270,000 × 15 %
東信木青連	40,500	270,000 × 15 % (※特別会員分含む)
松本材青会	40,500	270,000 × 15 %
合計	121,500	

第63回県会員東信大会について(案)

日 時 令和4年 5月14日(土)

場 所 ※ 未定 または Zoom

スケジュール

新旧正副会長・事務局会議	14:00 ～ 14:30
令和3年度 臨時理事会	14:35 ～ 14:50
令和4年度 臨時理事会	14:55 ～ 15:10
定時総会	15:30 ～ 16:30
県会員東信大会	16:45 ～ 17:15
懇親会	17:15 ～ 19:00

※ Zoomの場合は懇親会なし

- ・ 場所につきましては、新型コロナの状況を踏まえ後日決定しご連絡させていただきます。

第1回定例理事会開催(案)

日	時	令和4年7月9日(土)
場	所	※ 未定 または Zoom
スケジュール	正副会長・事務局会議	15:00 ~
	理事会	15:30 ~
	懇親会	18:00 ~

※ Zoomの場合は懇親会なし

- ・ 場所につきましては、新型コロナの状況を踏まえ後日決定しご連絡させていただきます。